

国連食料システムサミット 国連事務総長による議長サマリー及び行動宣言
(骨子)

2021年9月23日

包摂的で変革的な食料システムは、飢餓の撲滅を達成するための進歩を育む

- SDGs を達成するための「行動の 10 年」に入ってもなお、世界の食料システムの多くが脆弱であり、すべての人々の十分な食料への権利を満たしていない。飢餓は再び増加しつつある。新型コロナウイルスの感染拡大は、こうした憂慮される傾向を更に助長した。
- 食料生産と地域の生産者は、気候変動に対してますます脆弱になっており、又、食料システムは、温室効果ガス排出の3分の1、最大で80%の生物多様性の損失等の要因となっている。
- 持続可能な食料生産システムは、これらの既存の課題に不可欠な解決策として認識されるべき。我々の地球を守りつつ世界の人々に食料を供給することは可能である。

人々、地球、繁栄のための解決策に焦点を当てた、「人々のサミット」

- こうした大きな課題を前に、国連は地域レベルから世界レベルまで、数万人の人々の参加を得て、国内対話、アクショントラックでの議論、本年7月のプレサミット等の食料システムサミットのプロセスを実施し、「人々のサミット」となった。
- 148 か国の国内対話を通じて、食料システム変革への活力あるビジョンが生まれた。
- 2030 アジェンダの中心には、「人々、地球、繁栄」があることが再確認された。COVID-19 をうけ、食料システムの変革に向けた行動は、世界的な回復を推進する上で重要な役割を果たす。

食料システムの変革

- 我々の食料システムは、より良い世界のための我々の共有ビジョンを実現する力を有する。優良事例を基盤とし、科学とイノベーションに投資し、全ての人々を SDGs の達成に関与させなければならない。
- 我々は、万能の解決策はないという意見で一致した。地域ごとの状況、アプローチ及び展望は多様であることを認識する一方、SDGs を実現するために、食料システムを適応させなければならない。
- 多くの政府は、2030 アジェンダに沿った形で、食料システムの変革を加速し、深化させることにコミットしている。人々の栄養、健康、幸福に貢献し、自然の回復及び保護に貢献し、気候に中立で、地域状況に適応し、人間らしい仕事と包摂的な経済力を提供する形態の、人口増加に対応可能な食料供給に焦点が当てられている。
- 開かれた、差別のない、透明性のある、ルールに基づいた貿易は、より包摂的で強靱な食料システムの構築に不可欠である。また、国際的なサプライチェーンにおける課題があるにも関わらず、COVID-19 は地域の食料システムの強靱性や食料の国際貿易の強靱性をも明らかにした。

2030年のSDGs達成に向けた、食料システム変革のための更なる前進

- 食料システムサミットは、2030アジェンダに不可欠なエネルギーを与えた。全てのステークホルダー、特に政府は、SDGsの約束を守るために、緊急的に、大規模に、そして連帯して行動することを再確認しなければならない。
- 我々は、各国による2030年に向けた道筋の策定と実行に対する国家的メカニズムを支援する。国連システムとすべての利害関係者が国を支援する重要な役割を果たす。
- 行動は、各地域の条件に応じ、政府により推進されなければならない。サミットのプロセスを通じて、2030アジェンダを実現するために必要な、変革を導くための5つのアクションエリア(①全ての人々への栄養の供給、②ネイチャーベースの解決策の推進、③公平な生計、ディーセント・ワーク及び力のあるコミュニティの推進、④脆弱性、ショック、ストレスに対する強靱性の構築、⑤実施手段の支援)が明らかとなった。
- この推進には、各国政府と協力する地域及びグローバルな実践コミュニティと利害関係者が必要である。また、SDGsの達成に向けた進展を加速するための、形成されつつある多様な利害関係者からなるイニシアティブやコアリションを歓迎する。
- 2030アジェンダの達成には、科学的根拠に基づく解決策への野心を強めるグローバルなイニシアティブが鍵となる。

サミットの先へ

- フォローアップは、各国や支援組織の既存の努力に基づいて行われる。
国レベル: 国連常駐調整官と国別チームが、各国による道筋の策定と実施を支援する。
世界レベル: 国連食糧農業機関(FAO)、国際農業開発基金(IFAD)、国連世界食糧計画(WFP)が、より広範な国連システムを活用する調整ハブを共同で主導する。

説明責任

- 事務総長は、2030年まで、フォローアップの進捗に関する年次報告書をハイレベル政治フォーラム(HLPF)に提出する。加盟国は、その報告書を検討する。

2年後のストックテイク

- 事務総長は、2年毎にグローバル・ストックテイキング会合を開催し、本サミットの成果に関する進捗状況と、2030アジェンダ達成への貢献のレビューを行う。

(了)